

平成20年3月10日（月）

（午後2時11分 再開）

○議長（中上良隆君）休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番5、7番 中谷和史君。

〔7番（中谷和史君）登壇〕

○7番（中谷和史君）ただ今、議長のお許しをいただきましたので、3月一般質問を始めさせていただきます。

1項目めですが、市役所周辺の駐車場の確保と運用についてお伺いいたします。

インターネットに慣れた人には、何てことのないことかもしれませんが、新着情報以外なかなか思うところへ行けない私です。ときどき見る本市のホームページに、1月ごろからだだったと思いますが、市役所周辺の駐車場が大変混雑しますとのアナウンスが周辺地区とともに掲載されていました。また、市報にも同じような情報が載っていたように思います。シルバー人材センターの会員が、誘導係をしてくださっていますが、空きスペースへの誘導に大変苦勞されているとのこと。手間取っていると、誘導に従っていただけなかったり、心ない言葉をぶつけられたりして、大変つらいようであります。さらに、今後高野口出張所の閉鎖に伴い、高野口からの来庁でお見えになる方も増えるものと思いますので、ますます駐車場が不足するのではないかと心配いたします。

そこで、質問でございますが、本来、来庁した市民のため、駐車場不足を補うために建てたのだと思いますが、市役所に最も近い東側にある立体駐車場が公用車の管理駐車場となっています。

一方、母子センター用に借り上げています

消防署裏の駐車場は、母子センターが小学校の運動場の一部をお借りできましたので、ほぼ毎日空の状態です。

そこで、消防署裏の駐車場へ公用車管理を移し、立体駐車場を市民のために開放すればいいと思います。他の駐車場も含めそういう運用を考えていただけますか。お伺いたします。

2項目めですが、幼保一元化の施策と進め方についてお伺いします。

先般、隅田地区において幼保一元化に関する説明会が開催されましたが、施策の内容及び策定の経緯について、あるいは説明会の開催や進め方に若干問題があるように感じました。なぜ、公設民営なのか。公設公営のほうがよいのではないか。あるいは、民設民営ではだめなのかといった説明の不足や、経済効果にしましても、差額総額の説明はありますが、個別金額の比較が不明でわかりにくいとか、現在の職員の雇用はどのように守るのかといった説明が不十分で、参加者には、市としてはどうしてもやりますというやや強引な印象を与えたように感じました。

せめて、住民に最も近い区長や、直接関係のあるご父兄の代表者などに、事前に十分な説明をしておくなり、市当局と共同で見学会を催すなりして、先進地の事例を確認するなど、もう少し地元で配慮した進め方をお考えいただきたいと思いますが、市当局のお考えをお教えいただきたいと思います。

3項目めといたしまして、清水地区国城山周辺ですが、昭和57年の地すべり以後、いまだ安全宣言が出せないようですが、現在の状況と今後の対策の進め方について、お伺いたします。

また、万が一の土砂流出地域であるとして、清水小学校が緊急避難場所として指定できていませんが、流出危険地域を外れた少し西に旧農協学文路支所があります。その旧農協学文路支所が市の施設として移管されていますが、有効利用に関し、地域活性化や地区住民の利便性向上のために何か利用されていますか。

地域コミュニティの拠点としての活用などにつきまして、市長のご見解をお伺いしたいと思います。

また、地元にもどのような要望があるのか、意見くみ上げの状況などについて当局の見解をお伺いいたします。

4項目めといたしまして、上兵庫区から下兵庫区周辺において、下水道整備が進んでいますが、現在の進捗状況をお伺いいたします。

あわせて、下水道に関する地元要望の状況把握及び付設の今後の事業見通しや予定などについてお答えできる範囲で結構ですので、お教えいただきたいと思っております。

以上、1回目の質問といたします。ご回答のほど、よろしく願いいたします。

○議長（中上良隆君）7番 中谷和史君の一般質問に対する答弁を求めます。

企画部長。

〔企画部長（吉田長司君）登壇〕

○企画部長（吉田長司君）旧学文路支所の有効利用についてですが、一昨年、紀北川上農業協同組合から、施設再編成計画に基づく機能整備の拠点建設を進めるため、市土地開発公社が所有する神野々団地用地の一部の取得と農業協同組合が所有する学文路グリーン店用地等の譲渡にあわせ、建物の寄附の申し出があり、種々検討した結果、昨年用地の譲渡と建物の寄附を受けました。

おただしの旧学文路支所については、学文路グリーン店として、農業協同組合が今年12

月まで使用する予定となっております。地域の活性化や地区住民の利便性の向上のために何か利用しているかとのことですが、2階の会議室については、従来より地元区などが会議等で活用しております。また、地元からは区長をはじめ、関係団体から集会、地場産業育成等の地域住民の自主的・多目的な拠点として引き続き利活用できるよう要望いただいております。

学文路グリーン店撤退後の具体的な利活用については、現在のところ決定しておりませんが、当該地区は本市が世界に誇る伝統地場産業である手づくりの紀州へら竿の生産拠点であり、橋本高野橋の開通により、霊峰高野山などの世界遺産紀伊山地の霊場と参詣道の玄関口として、さらに紀の川左岸農道への接続地点として重要性が高まっております。

こうしたことを考慮して、さまざまな視点からその利活用を検討してまいりたいと考えております。

○議長（中上良隆君）総務部長。

〔総務部長（中山哲次君）登壇〕

○総務部長（中山哲次君）まず、市役所周辺の駐車場の確保と運用についてお答えをさせていただきます。

市役所の駐車場につきましては、高野口町からの来庁者の方が増えたことや、教育文化会館等を利用される団体が水曜日、金曜日に集中していることから、満車状態になることが多くなっております。そのため、それらの日程や開催場所についてできるだけ分散できないか、関係部署と調整を図っているところでありますが、全体的な駐車スペースが不足していることから、新たに確保する必要があると考えております。

議員おただしの公用車集中管理場につきましては、集中改革プランにより、平成19年4月から実施しておりますが、計画当初の段階

で消防署南側の駐車場についても検討いたしましたが、駐車できる台数が約30台と少ないことや、設備投資が必要であることから、集中管理場としては難しいと判断いたしました。

現在、集中管理車両としての台数は44台となっておりますが、今後増えていくことが予想されること、水道や電気設備が必要であること、1カ所で管理できる場所であること等により、台数や経費の面から判断し、現在の場所では実施せざるを得ないということになったわけでございます。

しかしながら、今後さらに駐車場を確保していく必要があるため、旧橋本市民病院跡地の利用計画の中で、公用車集中管理場の移設や来庁者の方の駐車場の設置について考えてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

続きまして、地すべりの現在の施策と今後の対策についてお答えいたします。

清水地区地すべりは、昭和57年8月3日未明、台風10号の集中豪雨により発生し、幅約100m、長さ約500mの範囲に及び、民家3戸が半倒壊し、地区内10世帯40人が避難いたしました。

このことから、当該区域を地すべり防止区域に指定するとともに、対策工を実施するためのボーリング、すべり面、変動量、地下水調査が実施されました。その結果に基づいて、初年度昭和57年度は、緊急地すべり対策事業として集水井1基と抑止杭及び水路工が施工され、次年度からは通常地すべり対策事業として集水井2基、横ボーリング工及び水路工が施工されました。また、地すべり調査は対策工後、平成3年から平成12年までの間、和歌山県が地下水調査及び坑内傾斜計、伸縮計、地盤傾斜計、地中伸縮計による自動観測を行い、安定しているとのことから県においての観測が終了いたしました。その後、引き続き

橋本市が継続して自動観測により経過観察を実施しており、現在のところ特段異常が認められない安定した状況にありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○議長（中上良隆君）上下水道部長。

〔上下水道部長（井手上治巳君）登壇〕

○上下水道部長（井手上治巳君）上兵庫区から下兵庫区周辺の下水道に関する地元要望と敷設の進捗状況及び今後の予定についてでございますが、下兵庫区につきましては、平成13年度より整備に着手し、全体整備面積58.2haのうち、平成19年度末における整備済み面積は17.43haで、整備率は約30%となっております。また、現在下兵庫区において、地元要望をいただき、整備を計画いたしております路線は6路線、対象戸数49戸であります。このうち、地元において用地確保ができていない1路線を除く5路線につきましては、平成19年度において、これらご要望のあった面整備について測量設計を完了し、平成20年度より順次施工の予定であります。

次に、上兵庫区につきましては、平成18年4月全地区から整備のご要望をいただきました。しかしながら、ご要望をいただいた中に、事業計画区域外の地区も含まれていること、また現在上兵庫区は事業整備に必要な事業認可の取得もいたしておりませんので、地区役員と協議を進める中、事業計画区域のうち、西は釜谷川から東は高橋川までの国道24号からJRまでの間、約6.5haにつきましては、平成20年度において事業認可の取得及び現地調査、詳細設計を予定しております。

整備につきましては、現地調査、詳細設計で大きな支障がなければ、平成21年度から平成24年度の施工を計画しております。

なお、国道周辺及び以北につきましては、既に国道24号の舗装が改良済みとなり、掘削規制の対象区域となりましたので、平成20年

度の事業認可区域とはいたしておりません。

また、地区のご要望をいただき、整備を行った地区でも、すべての接続となっていないのが現実です。下水道面整備後の接続率向上に向けた啓発に力を入れてまいりますとともに、今後も予算の効率的な執行の観点から、整備後の接続協力のいただける要望箇所を重点地区として整備を進めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

○議長（中上良隆君）幼保一元化担当参事。

〔幼保一元化担当参事（前田彦尚君）登壇〕

○幼保一元化担当参事（前田彦尚君）幼保一元化の質問にお答えいたします。

幼保一元化の施策につきましては、平成9年2月、国の教育課程審議会において、幼児教育振興計画が策定され、その中で将来的には幼保一元化の実現に向け取り組みを考えるとの提言がなされております。

また、橋本市では、平成11年3月策定の橋本市行政改革実施計画書の中で、保育所の民間委託と幼保一元化を掲げ、その方針に沿って検討を重ねながら取り組んできております。

また、市議会においても平成10年12月市議会一般質問がなされまして、その後平成16年3月市議会まで幾度となく議論をされているところであります。

その成果の一つとして、平成17年には構造改革特区により、民間法人による幼保一元化施設が開園され、保護者からの評判もよく、実績も積まれている状況です。

これらを一つの身近なモデルとしながら、幼保一元化についてはこれまでの経過も踏まえ進めていかなければならない重要な課題と受けとめております。

そのような認識に立って、まず市として幼保一元化5カ年計画を議会全員協議会に提示させていただきました。その後、各種説明会を開催させていただき、保護者や区長の皆様

から多くのご意見をいただいております。その中には、議員ご指摘のようなご意見もいただいております。

今後、こども園開設にあたっては、地元の区長や保護者の皆さま方には、十分納得していただくとともに、高野口こども園の進捗状況や先進地の状況もあわせてお伝えし、地域に密着した説明会を開催してまいりたいと考えております。

次に、なぜ公設民営なのか、こども園ごとの財政削減効果についてのおたがいでございますが、設置主体としての行政責任を残し、民間の柔軟・自由な発想と迅速な対応を取り入れやすい公設民営方式の導入を図ることは意義のあることと考えており、あわせて経験ある法人を選定することで、公立園も法人もお互い就学前教育のレベルアップがさらに図られると考えています。

財政削減効果につきましては、すみだこども園を例に挙げますと、平成17年度決算歳出単純比較におきまして、統廃合の対象となるすみだ保育園・兵庫幼稚園・山内幼稚園・隅田幼稚園の4つの園の歳出決算額は約1億6,800万円でございます。

公設民営のこども園では、指定管理者に支払う指定管理料は、児童福祉法により園を設置する市町村、園の規模、年齢によって保育単価が決められております。すみだこども園を例にとりますと、基本単価は0歳児で1カ月14万3,100円、1・2歳児で8万800円、3歳児で3万4,250円、4・5歳児で2万8,030円となり、合計約1億700万円と試算され、差し引き約6,100万円の財政削減効果があります。

しかしながら、約6,000万円の削減効果の数値は、正規職員の人件費も算入されております。正規職員は他の園に異動となり、結果として非正規職員が削減されることになるため、

すぐに大きな効果は現れません。

また、今後の説明会の進め方につきましては、先ほどもご答弁させていただきましたとおり、地元にもさまざまな情報を提供しながら、丁寧の説明をまいりたいと考えております。

職員の雇用の問題につきましては、先ほども申し上げましたが、他の園への異動という形での対応を考えております。嘱託、臨時、パート職員の雇用につきましては、法人の考え方も尊重しながら、できるだけ地元雇用していただけるようお願いしたいと考えております。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

○議長（中上良隆君）7番 中谷和史君、再質問ありますか。

7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）それでは、順番に従い、駐車場の確保云々について再質問させていただきます。

水道、電気、設備の問題があるということと、実際あそこの消防署裏が32台かな。置けたと思うんですが、現在44台の管理をしておるということで、大変難しいというご答弁でございますけれども、あいている必要のないところであれば、借りておく必要はないでありますし、何か職員の駐車場と入れ替えをすとか、いずれにしましても何とか市役所周辺の駐車場をあけていく方向でお願いしたいなと。

市民病院の跡地ということで、これは健康福祉センターの建設とも絡んでこようかと思えますけれども、この辺の何とかの対応というのは割に早い時期にできるでしょうか。それとも、やっぱり保健センター建設まで待ってくださいというような話なのか、その1点だけ駐車場についてお伺いしたいと思います。

○議長（中上良隆君）総務部長。

○総務部長（中山哲次君）その点、具体的な

年月等については、ちょっと今日ご答弁、苦しいところがございますが、ただ市民の方が来庁されたときに非常に困窮されておるといふ現状ということは真摯に受け取っておりますので、仮称健康福祉センターの工程の中で、どのような工程順序で可能なのかどうかということも含めまして、関係部とも協議も検討はさせていただきますと思います。

○議長（中上良隆君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）ありがとうございます。時期はちょっと難しいのかもしれませんが、できるだけ速やかにというか、早い時期にやっていただきたいと。実際、高野口からお見えになって、本当に土地勘もなくでどこへ置いたらええかわからんと。そのいららが本当に誘導員の方にぶつけられると。本当に誘導していただく方も気の毒なので、ぜひ一日も早くよろしくお願いしたいなというふうに思います。

次に、幼保一元のことにつきまして、雇用に対してもできるだけ地元雇用で頑張っているという心強いお言葉をいただきましたので、ぜひ何とか地元のほうで、コムスンのようなのが来られると困りますけれども、ぜひいい園を呼んでいただきまして、何とかしていただきたいなというふうに思うわけであります。

それで、説明会の進め方としまして、やはり今も言うていただきましたけれども、地元のほうですね。やはり、区長が住民から尋ねられてわからないということで、本当にちょっと気の毒なことになりますので、ぜひ区長方にも重々事前にお話を流させていただきますように、よろしくお願いしたいと思います。

また、教育委員会さんのほうで、小中一貫の導入ということでしておられますけれども、小中一貫制度が導入されますと、当然学校選択制という話が出てこようかと。どこの小学

校へ行きたいよと。私は、小中一貫行きたないよという方も出てくるかと思います。説明会も出ておりましたですけれども、隅田の幼保の説明会でも出ておりましたけれども、現在中学校区で策定されておる計画を見直していただいて、校区フリーといいますか、対象人口割りなど妻のJ Tの跡地云々という話も利用も見据えた議論が必要であろうと思います。

各部、各課にまたがった調整になろうかと思しますので、少し実施に向けてスピードを落とされて年度の見直しとか、そういうことをされてはいかがかと思いますが、その点につきましてもいかがでしょう。

○議長（中上良隆君）幼保一元化担当参事。

○幼保一元化担当参事（前田彦尚君）中谷和史議員のほうから再質問をいただいたんですけれども、2月20日に一応計画全体の説明会というのを一通り終わりました。個別のものはまたこれからしていったらいい。中身については、これからしていくんですけども、計画全体の説明会というのは、一応は終わりました、いろんな課題、整理しなければならない課題がございます。要望もいただいておまして、これからいろんな課題の整理する時間が要ってくると思いますけれども、とりあえず一旦一通りの説明が終わりましたので、整理していきたいと、こう考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（中上良隆君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）そういう形でご答弁いただいておりますので、ぜひ先進地、我々議員も含めて先進地を再度見学して、本当に効果があるのか、ないのか。あるいは、こんないいところがあったよと。その方向で、しかも初めての取り組みの話になりますので、あまりあれですけれども、ちょっとスピードを緩めてやっていくなり、今後いろんなご検討

をいただきたいなということ、そしてまたできるだけ、本当に市で一生懸命今やっただいておる職員が、ぜひ民営化されるとしたら、その園に対してできるだけたくさん雇用していただけるような方向でお願いしたいなということ、要望しておきまして、次の3項目めのほうに移らせていただきたいと思ひます。

旧学文路支所ですけれども、この辺のところの緊急避難場所云々というのが、地元、非常に学文路中学校まで行かないかとか、非常に難しい問題もありますし、私の見た資料では土砂流出地域から少し外れているというようなこともありますので、その辺も踏まえて今後ちょっと有効利用を検討していただきたいと思ひますが、ちょっと市長のご見解、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（中上良隆君）市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）中谷和史議員の再質問にお答えしたいと思います。

大きく分けまして、私は、河北と河南の格差の問題ですね。全体的に見て、非常にこう言うて御幣がありますけれども、河南は全体に遅れておると。高野口の場合は、河南はございませんけど、旧橋本市の場合はね。戦後、合併しても50幾年たつんですが、まだ他人の水取りようで生活しているのが、相当な件数があるんですね。そんな状態の中で、今、西畑からまた上清水、五軒畑、横座、この地域については2、3年以内に市の上水道に全部接続すべきだということで、私、就任してからその方針を立てたわけでありまして。また、左岸農道につきましても、河北はもう2、30年前に細かく全部の面が配置されておるにもかかわらず、河南が今ようやく立ち上がってきて、ぼつぼつというような状況であります。

あれやこれや見てみますと、やはり相当河

南の救済ということとといいますか、公平さといえますか、そういう観点からある程度河南には、今、力点を置いた考え方を持たざるを得ない。そういう考え方を持っていて、おのずから学文路支所につきましても、この12月末まではJAが占有しておる、1階がですね。占有しておりますので、それをあいた時点では、今後十分検討した上で、地域に喜ばれる、できれば私としても世界の高野山ということの玄関口でもございますし、そして特産であるへら竿なんか、橋本市、他府県から観光バスでも来ていただいて、胸張って見て説明できるものというのは、いくつありますか、今。あまりないんですよ。単体ではたくさんありますけども、スケールが小さい。これもやはり充実させなければならぬと思いますけども。やっぱり、特産の柿であるとか、あるいは高野口のパイル織物、そうして釣竿、これはもう3点セットで前へ出していかなければならない。高野口はりっぱに再織りのところも我々行かせていただいて、勉強もさせていただいておるんですけども、そういう特産も育てていかなければならないということも含めて、やっぱり観光バスで釣竿の製造工程を全部見て、最後には値のいいものを売っていただくというか、そういうこともやっぱりしていくべきではないかなということも考えておるんです。

しかし、これをするには非常に今、財源も厳しい中でいかにして橋本を充実発展させていくかということの決め手にもなれば、ありがたいなと。その程度の構想であります。

ひとつ、また議会の皆さんのお力添えもいただきますようお願いを申し上げ、答弁とします。

○議長（中上良隆君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）大変ありがとうございました。ご答弁いただきまして、心強く思い

ます。ぜひ、地元の要望をくみ上げていただきまして、地域、地場産業の活性化に向けて、また地域の住民が集会所等々としてやっぱり有効に利用できますように、よろしくお願ひしたいと思います。

また、本当に柿、へら竿ほか、できれば観光バス向けの道の駅なども、また今後考えていただけたらありがたいなということを提案いたしまして、3点目を終了いたします。

4項目めにつきましての、上兵庫、下兵庫につきましての下水道の整備につきましては、遅くともだいたい平成24年度には施工が終わるのかなということで、一応の了解をいたしました。ぜひ、進めていただきまして、また私のほうも地元のほうに働きかけて接続協力のほうはさせていただきますので、何とか協力させていただきますので、接続協力をするよというところにつきましては、ぜひ早急に整備をしていただきたいということをご希望申し上げて、私の質問を終わりたいと思います。

ありがとうございました。

○議長（中上良隆君）これをもって、7番 中谷和史君の一般質問は終わりました。